



令和2年6月5日（金）

記者発表資料

国土交通省関東地方整備局

利根川水系砂防事務所

つまごい

孺恋消防団が『土砂災害防止功労者表彰』を受賞 授与式を開催

孺恋消防団は、令和元年10月台風第19号において、土砂災害防止に関して顕著な功績があり、他の模範として推奨に値すると認められたため、「土砂災害防止功労者表彰（国土交通大臣表彰）」を受賞しました。

つきましては、下記のとおり授与式を開催します。

記

○開催日時

令和2年6月9日（火） 13時30分～

○会場

孺恋村役場（群馬県吾妻郡孺恋村大字大前110）

TEL：0279-96-0511

○主催

利根川水系砂防事務所

※当日は取材可能です。

（取材を希望される場合は、当日、会場受付までお越し下さい。）

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ
神奈川建設記者会
渋川記者クラブ

刀水クラブ（群馬）
テレビ記者会（群馬）

問い合わせ先

関東地方整備局 利根川水系砂防事務所

住所：群馬県渋川市渋川121-1

電話：0279-22-4177（代）

FAX：0279-23-4791

副所長（技術）：宮崎 勝巳（みやざき かつみ）

工事品質管理官：儘田 勉（ままだ つとむ）

URL：<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/>

土砂災害防止功労者の表彰

○概要

令和2年5月28日に国土交通省より、土砂災害防止に関して顕著な功績があり、他の模範として推奨に値すると認められる個人または団体が公表され、対象の個人または団体に対して、国土交通大臣表彰を行います。(今年度の功労者表彰は、個人3名、5団体です。)

今年度の功労者表彰受賞者は、下記のとおりです。

【個人】

推薦団体	氏名	表彰基準
北海道・北海道開発局	丸谷 知己(北海道大学 大学院農学研究院 特任教授)	(4)土砂災害防止対策事業の推進 (7)研究、発明
静岡県	内田 肇(元自主防災会会長)	(1)地域住民の生命又は身体の保護
四国地方整備局	小笠原 徳孝(大豊町仁尾ヶ内区長)	(2)被災者支援

【団体】

推奨団体	氏名	表彰基準
岩手県	砂防ボランティア岩手県協会	(2)二次災害防止に関する活動
岐阜県	岐阜県砂防ボランティア協会	(2)二次災害防止に関する活動 (6)土砂災害防止施設等の点検等(5年以上)
広島県	三入学区自主防災会連合会	(8)その他顕著な活動(住民主体で防災対策を実施し、土砂災害防止に貢献)
関東地方整備局	孺恋消防団	(1)地域住民の生命又は身体の保護 (2)二次災害防止及び被災者支援活動
九州地方整備局	杉谷地区コスモス愛護会	(5)土砂災害防止施設における美化・清掃(5年以上)

○功績概要(孺恋消防団)

令和元年10月台風第19号により、令和元年10月12日9時頃から激しい降雨となり、台風本体が接近し、その後も激しい降雨が予想されました。孺恋消防団は、雨がこれまでに経験したことのないような降り方であること、さらには、昨今の全国での甚大な土砂災害の発生状況を考慮して、避難勧告を待つこと無く避難誘導を行いました。地区には高齢者が多く、激しい降雨の中では避難の声かけをしても高齢者1人で避難してもらうことは難しいと考えて、「隣人も避難するよ」と個別に呼び掛け、まとまって避難するように誘導しました。

住民の避難後、吾妻川支川から本川への多量の土砂流入が原因で田代地区、大笹地区などで住宅が流出するなどの被害が発生しましたが、孺恋消防団が、早めの対応を行うことで土砂流出による地区の孤立化や人的被害を防ぐことができ、地域住民の安全確保に貢献されました。

さらに、台風第20号及び第21号に備えて、令和元年10月13日から27日までの間、二次災害を防止するため、土砂撤去や水路整備を実施するとともに、住宅流出等の被災地区での災害ゴミを撤去するなどの被災者支援を行い、早期の帰宅に寄与する活動を行いました。

※活動期間(令和元年10月12日～27日 延べ活動人数628人)



災害ゴミ撤去活動状況

※孺恋村消防団以外の功績概要については、下記URL参照(国土交通省 令和2年5月28日記者発表資料)
https://www.mlit.go.jp/report/press/sabo01_hh_000101.html

概要調書(団体)

1. 被表彰団体等の名称等

団体名 孺恋消防団(つまごいしょうぼうだん)

代表者名 熊川 美朗(くまがわ よしあき)

設立年月日 昭和22年 4月 1日

住所 群馬県吾妻郡孺恋村大字大前110

2. 団体等の規模等

規模・組織等

規模等 団員数251名(令和2年 4月 1日現在)

組織等 団長 1名、副団長 7名、分団数 10分団

(各分団に、分団長、副分団長、班長、団員)

3. 功績内容

(災害概要)

1) 台風第19号

令和元年10月11日から13日にかけて、台風第19号に伴い豪雨が降り続き、群馬県吾妻郡孺恋村では、日雨量が観測史上最大となる348mm、総雨量は385mmを記録した。

気象状況)

孺恋村田代地区 最大時間雨量36mm 日雨量 348mm
(10月12日 14時~15時) (10月12日 0時~24時)

被害状況)

	全壊	半壊	その他
田代地区	4戸	3戸	
大笹地区	1戸	1戸	非住家(半壊以上)1戸、国道144号鳴岩橋落橋など

2) 警戒・避難等の発令状況

10月12日 9:10 大雨警報発令
13:01 土砂災害警戒情報発表
13:15 洪水警報発表
15:00 避難勧告発令(孺恋村村内全域)
15:30 大雨特別警報発表

3) 土砂災害の発生状況等

孺恋村田代地区や大笹地区などで、土石流14件、がけ崩れ10件が発生した。

(主な活動内容)

10月12日(活動人数 224人)

10:30 主に住家周辺を中心として村内全域のパトロールを開始し、危険箇所には土のう積みを実施した。また、住民に対して避難の呼びかけを及び誘導を行った。

避難所・避難者数

・田代コミュニティーセンター	138名
・干俣公民館	17名
・大笹公民館	7名
・孺恋中学校	48名
・大前活性化センター	36名
・孺恋村役場	4名
・孺恋会館	120名
・鎌原多目的センター	8名
・東部こども園	44名
・芦生田ふれあいセンター	57名
・袋倉公民館	8名
・今井集落センター	28名
<u>12施設合計</u>	<u>515名</u>

10月13日(活動人数 204人)

10:30 全地区パトロール及び被害状況確認を行った。

活動期間 10月12日～27日の16日間で、延べ活動人数 628人